

渋谷ヒカリエ11階 ミュージカル劇場「東急シアターオーブ」 来場者が30万人を突破しました

株式会社 東急文化村
東京急行電鉄株式会社

「東急シアターオーブ」は、開業240日目の3月14日(木)に、来館者数が30万人を突破しました。

昨年7月18日に開業した「東急シアターオーブ」は、東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)が運営する高層複合施設「渋谷ヒカリエ」内のミュージカル劇場です。「東急シアターオーブ」は、連日満席となった、こけら落とし公演のブロードウェイ・ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」をはじめ、国内、海外の話題のミュージカルを上演し、当初の予測であった今年度来場者数20万人をはるかに上回る、多くのお客さまにご来場いただいています。

30万人目のご来場は、フランスから初来日した話題作「ノートルダム・ド・パリ」の3月14日(木)の昼公演にお越しになった、足立区の小山下昭子さん、朋江さん親子のお二人となりました。小山下さんには東急文化村専務取締役の仁田から記念品を贈呈し、終演後にはステージ上で「ノートルダム・ド・パリ」のキャストがサイン入りの公演グッズなどをプレゼントしました。

小山下さんは「東急シアターオーブはずっと来てみたいと楽しみにしていた劇場です。ミュージカルにも感動しましたが、こんな嬉しい瞬間にめぐり合う事ができてとても感激しています。職場にもどったら皆にこの喜びを伝えたいです。」とコメントされました。

東急シアターオーブは引き続き、国内外で注目を浴びているミュージカルを上演することで、観劇の裾野を広げ、アジアでナンバー1のミュージカル劇場を目指します。

以上



30万人目となった小山下さん親子(右2名)に東急文化村専務・仁田(左)が記念品を贈呈しました



「ノートルダム・ド・パリ」のキャストも祝福
終演後に小山下さんをお招きしてプレゼントを贈呈しました